

科目区分	専門教育科目	科目名	公衆衛生学 (実務家教員担当科目)		科目コード	22L401	担当者	吉井 学			
対象学生	生活創造学科 ビジネス・医療秘書コース 2年生	学期区分	前期		単位数	2	担当形態	単独			
		授業形態	講義								
科目		施行規則に定める科目区分又は事項等				卒業要件	選択				
						免許・資格要件	医療管理秘書士／診療実務士必修、 社会福祉主事任用資格				
科目の主題						学修成果との関連 (大◎、中○、小△)					
予防医学、環境保全に必要な処理・対策、労働衛生・衛生管理、少子高齢化社会での保健医療、社会福祉・社会保障についての知識を得る。						1. 「 <b>尽心</b> 」 誠実な人柄と 人間力	2. 「 <b>創造</b> 」 高度な知性と 創造力	3. 「 <b>実践</b> 」 明確な意思と 実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 思考力・判断力・創造力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	公衆衛生の問題点を提示し、解決のための方法を他者に説明できる。										
2.	公衆衛生の問題点を提示し、解決のための方法を他者に説明できる。										
3.											
4.								◎	○		
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						定期試験 (70%) 提出物 (30%)					
講義、ワーク、テキスト、配布プリント、視聴覚教材 (ICT活用等) 基づいて学修する。毎授業ごとに課題を課す。新型コロナウイルス感染症の感染状況により、遠隔授業となる場合があります。											
課題等への対応						授業外学修時間					
必要に応じて理解度を確認するための課題を課します。後日、課題の振り返りを行います。						180分／授業 1 回					
回数	授業計画					学習課題 (予習・復習)					
第 1 回	公衆衛生学の成立と疫学研究及び予防医学との関係					WHO の健康の定義を知り予防医学について考察する。					
第 2 回	人口動態					地域的人口動態を知る・将来の推定を行う					
第 3 回	妊娠・出産関係の保健					先天異常の現状を知り予防策を議論する。					
第 4 回	感染症と食中毒の要因を知る					感染症発生のメカニズムを知る					
第 5 回	主要感染症の予防対策					感染症法と要望法を議論する。					
第 6 回	母子保健と新生児・乳幼児の健康					母子保健法を知る・授業の振り返り					
第 7 回	青少年の保健と学校保健					学校保健法を知る・思春期の健康についてQ&A					
第 8 回	精神保健					精神保健法を知る・授業の振り返り					
第 9 回	老人保健					老人保健法を知る・授業の振り返り					
第 10 回	成人期の保健、生活習慣病の動向					国の保健行政を知る・生活習慣病についてQ&A。					
第 11 回	環境保健					公害の歴史を知る・授業の振り返り					
第 12 回	栄養と食品衛生					栄養の現状と食品衛生法を知る・授業の振り返り					
第 13 回	産業保健					職業病や労働安全衛生法を知る・授業の振り返り					
第 14 回	衛生統計					人口動態・動態統計を知る・授業の振り返り					
第 15 回	保健医療制度と法規					社会保障制度を知る・授業の振り返り					
試験	定期試験を実施する										
教科書	学生のための現代公衆衛生 改訂 8 版 [出版社]南山堂				受講生へのメッセージ	日常的に公衆衛生学に興味を持ち、現代社会で起こっている様々な事象に対する知的な好奇心を持ち課題への探求心を期待する。また、受講に関しては、時間毎の予習・復習を習慣化すること。判らないことはメールや対面で質問をすること。					
参考書等	適宜、資料を配布する				実務経験に関する情報	①経験内容	臨床検査技師、公益法人にて環境部門・公衆衛生を担当				
						②科目との関連	臨床検査技師、公益法人にて環境部門・公衆衛生を担当。この経験を活かして生化学、と代謝学について授業を行う。				